

平成 31 年度 事業計画書

社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会

平成31年度 事業計画

【基本方針】

少子・高齢化の進行、認知症高齢者の増加や一人暮らし高齢者世帯の拡大、地域社会や家庭の機能が大きく変容していく中で、様々な分野の課題が絡み合って複雑化したり、世帯単体で複数分野の課題を抱えるといった状況が生じています。

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指す魚津市社会福祉協議会は、いわゆる互助・共助を育みつつ、「他人事」になりがちな地域づくりを地域住民が「わが事」として主体的に取り組むしくみづくり、「丸ごと」の総合相談支援体制の整備を進めていくことが求められています。

こうした中、平成29年度から実施している第4次魚津市地域福祉活動計画及び中期経営計画が3年目を迎えます。

特に中期経営計画においてはこの間、各事業部門でビジョンと重点目標の実現に向け、自己評価や反省点を踏まえ実施計画に鋭意取り組んでいます。しかしながら、経営環境の変化や財政状況が厳しさを増す中、本会が長期的に存続していくためには、あらためて適切な環境認識と将来予測、本会の内部環境を精緻に分析し、変革させる戦略の確立が急務となっています。

それぞれの職員が財政状況等を含めた法人の全体像を理解し、日々の業務の中で、何が課題であり現時点で何を為すべきかを常に考え、社協としての強み・総合力を活かした明確な方向性や目標を打ち出し、それを的確に実行していける経営体質の強化に励んでまいります。

【経営重点目標】

次の経営重点目標に基づき、本会に求められる役割の実現とその目標達成に向けて組織機能を強化します。

1. 安定した法人経営と地域から信頼される組織づくり
2. 地域住民が安心して暮らせる支え合いの仕組みづくり
3. 地域住民が自立した生活を送ることができるための権利擁護体制の構築
4. 地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるサービスの実施
5. 地域福祉の拠点施設としての機能の拡充

【強化すべき取り組み】

1. 地域福祉推進部門と介護事業部門の連携によるアウトリーチ
2. 部門間横断による生活支援体制づくり
3. 介護事業部門の分析によるサービス展開の検討
4. 各事業部門の管理者による事業評価、経営数値把握、目標管理等のマネジメントの徹底

【新規・拡充事業】

新規 ・福祉振興基金管理事業 ・経営戦略・新規事業検討事業・魚津あったか食堂事業 ・地区社協役員等研修支援事業
拡充 ・放課後児童健育成事業（つばめ村木学童クラブ新設）

個別事業計画

1 地域福祉拠点 (158,229千円)

1 法人運営事業サービス区分 (86,184千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|---|--------|--------|--|-----------------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)法人運営事業 | | | ○組織の機能強化と職員の専門性を活かす人材育成に努めます。 ・部署間連携を強化し、個別ニーズに対応したケース検討会を実施し、職員の資質向上を図ります。また、人員配置は強化すべき部門への増員などを柔軟かつ適宜行える体制を目指します。 ○法令順守を徹底し、地域住民から信頼される法人経営に努めます。 ・諸規程等の迅速な改正、社会福祉法人としての計算書類等の公表を行います。 ○法人の経営状況、財務状況の正確な把握に努めます。 ・事業評価やコスト把握（実績・経営指標の数値のデータ比較）の分析を行います。 | 通年 |
| 23,314 | 26,204 | △2,890 | | |
| (会費 3,726・利息配当金 1,408 繰入金 18,150・その他 30) | | | | |
| (新) (2)福祉振興基金管理事業 | | | ○基金の名称を「魚津市社会福祉事業振興基金」から「魚津市社会福祉協議会福祉振興基金」に変更し、引き続き元本安全性の確保と運用収益の最大化を踏まえ、適正な管理運用に努めます。 | 利付国債と定期預金で運用 |
| 0 | 100 | △100 | | |
| (3)地域包括支援センター介護予防支援事業 | | | ○本会職員が市地域包括支援センターに出向し、指定介護予防支援事業（要支援1・2のケアプラン作成と給付管理）、介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する予防プラン作成等を行います。 | 通年 職員5人（1人増） |
| 26,830 | 20,100 | △6,730 | | |
| (市受託金 26,830) | | | | |
| (4)介護認定調査受託事業 | | | ○本会職員が市社会福祉課に出向し、要介護認定申請者の自宅等に訪問し、心身等の状態を確認し調査票のまとめ等を行います。 | 通年 職員2人 |
| 6,418 | 5,963 | 455 | | |
| (市受託金 6,418) | | | | |
| (5)退職共済積立事業 | | | ○全国社会福祉協議会が運営する退職手当積立基金制度に加入しており、将来の退職手当給付に充てるための資産確保に努めます。 | 通年 |
| 29,362 | 30,128 | △766 | | |
| (繰入金 16,019・その他 13,343) | | | | |
| (6)中期経営計画推進事業 | | | ○中期経営計画の進捗状況を管理するとともに、推進委員会を開催します。 ・計画の中間年にあたり中間評価を踏まえ、実施事業や財政計画を実態と照らし合わせて必要な見直しを行います。 | 委員会開催：年2～3回 |
| 110 | 235 | △125 | | |
| (繰入金 110) | | | | |
| (新) (7)経営戦略・新規事業検討事業 | | | ○本会の経営体質の強化のため、経営戦略の立案・策定・実行に向け鋭意取り組みます。 ・昨年12月に設置した「経営改善タスクフォース」（30年度は3回実施）で、各部門の経営課題の抽出と共有、解決に向けた取り組み、経営強化に向けた勉強会を開催します。 ・新規事業について、調査及び研究に励みます。 | 通年 |
| 150 | 0 | 150 | | |
| (繰入金 150) | | | | |

2 魚津善意銀行事業サービス区分 (4,402千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|------------------------------|-------|--------|--|----------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)魚津善意銀行事業 | | | ○市民の皆様の善意を寄附金や寄附物品としてお預かりし、地域での福祉活動支援に活用します。寄附金額が減少傾向のため、本事業のPR強化にしっかり取り組んでいきます。なお、地区社協と福祉団体への活動助成は前年度実績の70%に見直しします。 | 随時 |
| 4,402 | 5,612 | △1,210 | | |
| (寄附金2,800・利息配当金2・前期繰越金1,600) | | | | |

3 地域福祉・ボランティアサービス区分 (42,653千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|---------------------|--------|--------|--|---|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)見守りネットワーク推進事業 | | | ○見守り活動を通じて、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援します。 ・地域ケア会議(地区ケース検討会)を開催し、地区社協や民生委員児童委員、福祉推進員との連携を強化し、支援体制の整備を進めます。 ・福祉推進員の役割や活動内容についての研修会を開催します。 | 新任福祉推進員研修会 地域ケア会議(地区ケース検討会) (各地区年3回の開催) |
| 2,700 | 2,700 | 0 | | |
| (市受託金2,700) | | | | |
| (2)地域住民グループ活動支援事業 | | | ○地域における集いの場を設け、高齢者などの孤立防止、仲間づくり、心身の健康維持を促進します。 ・サロンに出向く回数を増やし、様々な地域のニーズ把握に努めます。 ・ボランティアやリーダーとなり得る地域人材の発掘と育成を行います。 ・講師派遣やレクリエーション用品の貸出と整備を行い、サロン活動を支援します。 | 目標サロン設置数：92ヶ所 サロン代表者研修会：年2回 レク用品貸出：通年 サロン講師派遣：通年 |
| 2,440 | 3,995 | △1,555 | | |
| (市受託金2,440) | | | | |
| (3)地域総合福祉推進事業 | | | ○誰もが住み慣れた地域で安心して生活が送れるように住民と共にニーズを把握し、地区社協と連携し生活課題を解決できるように支援します。 ・ケアネット活動の周知徹底とケアネット活動チーム増加を目指します。 ・多職種・多機関との連携による地域の支え合い助け合いの理解と意識向上を図ります。 ・社会福祉法人による地域貢献活動の促進を図ります。 | 地区社協会長・事務局長会議 (年4回) |
| 4,419 | 5,286 | △867 | | |
| (補助金3,250・繰入金1,169) | | | | |
| (4)地域福祉強化事業 | | | ○福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの専門職を配置し、地域住民やボランティア、地区社協、民生委員児童委員等と連携しながら地域福祉課題の解決に取り組めます。 | 通年 |
| 14,656 | 15,239 | △583 | | |
| (補助金8,161・繰入金6,495) | | | | |
| (5)生活支援コーディネーター活動事業 | | | ○地域における生活ニーズを把握するとともに、地域の実情に応じた生活支援サービスを創出します。 ・支援の必要な方の生活課題、ニーズを抽出・分析して、その解決方法を地域住民とともに検討します。 ・地域ケア会議(地区ケース検討会)の拡充を図り、関係機関、関係団体、企業などとのネットワークを構築します。 ・地域の居場所づくりや人材発掘・育成を目的とした研修会を開催します。 | 事例検討会(月2回) 養成研修会6回(8月~10月) 協議体会議(年3回) |
| 6,700 | 7,329 | △629 | | |
| (市受託金6,600・繰入金100) | | | | |

| | | | | |
|------------------------|-------|-------|---|--|
| | | | ・各種研修会、協議体会議に出席し、介護予防・日常生活支援総合事業のあり方について協議を行うと同時に新たな生活支援サービスの創出について検討します。 | |
| (6)買い物サービス支援事業 | 350 | 250 | 100 | 市場形式：大町 移動注文販売形式：片貝 新規開催地区社協 |
| (補助金 350) | | | | |
| | | | ○買い物の課題に対して、地域住民による買い物支援を実践し福祉のまちづくりを推進します。 ・現在実施の大町地区社協、片貝地区社協、西布施地区社協の活動と、新たに実施を検討する地区社協を支援します。 | |
| (7)障害者移送支援事業 | 5,595 | 5,307 | 288 | 利用目標：年間670回 (月平均55回) |
| (市受託金 4,400・繰入金 1,195) | | | | |
| | | | ○専用特殊車両を用いて、自力での移動が困難で常時車椅子を利用する方の移動を支援します。 ・移送サービスを行う全ての職員を対象に車椅子操作の技術向上を図るため、車椅子の取扱や注意点を学ぶ研修会を開催します。 | |
| (8)ひとり暮らし高齢者給食サービス事業 | 802 | 861 | △59 | 目標提供数：1,410食 上中島：400食（第2・4土） 上野方：320食（第2・4金） 経田：690食（第1・3土） |
| (市受託金 802) | | | | |
| | | | ○ひとり暮らし高齢者等に対し、調理ボランティアによる手作りのお弁当を、民生委員・児童委員等が見守りを兼ね配食することにより、その高齢者の自立生活を支援します。 ・配食が必要な利用者の状況把握を取り、それぞれに応じた支援方法を検討します。 ・調理ボランティアの交流と資質向上を図るための研修会を年2回開催します。 ・代表者連絡会を年2回開催し、グループ運営の支援を行います。 | |
| (9)ファミリーサポートセンター事業 | 4,064 | 4,786 | △722 | 目標預かり件数 15件 講習会：3回 |
| (市受託金 2,000・繰入金 2,064) | | | | |
| | | | ○地域において育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を組織化し、相互援助活動により保護者等が仕事と育児を両立し、安心して働くことができるよう支援します。 ・会員や子育てサロン担当者、子育て中の住民を対象とした講習会を開催します。 | |
| (10)ボランティア活動事業 | | | | V養成講座：2回 Vサポーター研修会：1回 災害ボランティアセンター設置 訓練 運営委員会：1回 |
| ボランティアセンター運営事業 | 527 | 570 | △43 | |
| (補助金 527) | | | | |
| | | | ○ボランティアニーズの受付調整を行い、ボランティア活動への参加を促進します。 ・ボランティアに関する情報収集・発信を積極的に行います。 ・災害に備えた地域の取り組みを推進するため、災害救援ボランティアリーダー研修会や職員全体で災害ボランティアセンターの役割や運営知識の向上に努めます。また、養成講座の開催や福祉教育を通してボランティア交流活動の機会の提供を図ります。 ・ボランティアやボランティアサポーターが、地区社協等と連携して活動できるよう支援します。 | |
| 福祉教育地域指定推進事業 | 100 | 100 | 0 | 福祉教育実施件数：10件 情報交換会：1回 |
| (補助金 100) | | | | |
| | | | ○福祉のこころを育み、福祉についての理解を深め、関わる実践力が身に付くよう支援します。 ・今年度は特定地区を指定せず、市全体における福祉教育を推進します。 ・学校において福祉教育の内容が多少異なるため、学校間の情報交換や教師の資質向上を目的とした情報交換などを実施します。 | |
| (11)福祉教育サポーター養成確保事業 | 300 | 300 | 0 | 委員会：3回 養成講座：5回 |
| (補助金 300) | | | | |
| | | | ○福祉のまちづくりを推進する人材を養成確保します。 ・福祉教育サポーター設置検討委員会において、人材養成・確保について検討します。 ・福祉教育を推進し、学校や地域で活躍する福祉教育サポーターの養成講座を開催します。 | |

4 総合福祉相談事業サービス区分 (8,115 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|--------------------------|-------|-------|--|---|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)総合福祉相談事業 | | | ○心配ごと、悩みごとに関する様々な相談に対して、必要な福祉サービスに関する情報提供や助言を行います。また、相談者の問題解決に向けて、社協の関係部署や最適な関係機関等と連携を取りながら、地域で安心して暮らせるようにサポートします。 | 通年 |
| 240 | 240 | 0 | | |
| (市受託金 240) | | | | |
| (2)日常生活自立支援事業 | | | ○認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な方が、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービス利用援助と利用者の権利擁護に努めます。 なお、判断能力の低下により本事業での支援が困難となる利用者に対しては、家族や行政等と話し合い、成年後見制度への移行を検討していきます。 | 通年 利用者数：55名 生活支援員登録者数：22名 |
| 6,644 | 5,560 | 1,084 | | |
| (県社協受託金 5,334・繰入金 1,310) | | | | |
| (3)生活福祉資金貸付事業 | | | ○低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対して、資金の貸付けと必要な相談援助を行い、経済的自立を図り安定した生活を送れるように支援します。 ・借受人の償還状況について、定期的に県社協から報告を受けるとともに、滞納者に対しては、電話や自宅訪問を行い生活状況を確認し、滞納理由に応じた支援や償還方法などについて県社協と協議を行います。 | 通年 |
| 431 | 458 | △27 | | |
| (県社協受託金 431) | | | | |
| (4)生活困窮者自立支援事業 | | | ○生活保護に至らない生活困窮者に対し、経済的自立や社会的自立など、本人の状態に応じた自立支援に努め、関係機関との連携を図ります。 ・食べることに困っている方や喫緊に生活上の困難に直面している方に対して、必要に応じて緊急的に食料支援を行う「フードネーション支援」を行います。 ・「フードネーション」の周知とともに、食料を提供していただける協力者を募集します。 | 通年 |
| 400 | 400 | 0 | | |
| (県社協受託金 400) | | | | |
| (5)法人後見推進事業 | | | ○認知症や障がいなどで判断能力が不十分な方を支援するため、当法人が成年後見人、保佐人若しくは補助人となり、判断能力が不十分な方の保護、支援を行います。 ・法人後見体制の強化と被補助人への適切な支援 ・法テラス等関係機関との連携強化による成年後見制度の普及啓発 ・法人後見推進委員会による受任の適否、後見等業務の助言、指導等 | 通年 法人後見推進委員会の開催 (年2～3回予定) 法人後見セミナーの開催 (年1回) |
| 400 | 400 | 0 | | |
| (市受託金 400) | | | | |

5 共同募金事業サービス区分 (3,739 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|----------------|-----|-----|--|--------------------------------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)いきいきサロン活動事業 | | | ○高齢者の孤立防止、仲間づくり、心身の健康維持を促進します。 ・サロンの代表者や世話役を対象とした研修会を実施し、情報提供と運営等の課題に対応します。 | サロン代表者研修会 年2回 レクリエーション用品の購入 |
| 800 | 100 | 700 | | |
| (共同募金 800) | | | | |

| | | | |
|---------------------------|---|------|--|
| (2)地区社協活動推進事業 | ○地区社協の活動を支援します。 ・13地区社協の小地域福祉活動計画に基づく各種活動の実践を支援します。 | | 通年 |
| 1,004 | 1,006 | △2 | |
| (共同募金 1,004) | | | |
| (3)福祉でまちづくり活性化事業 | ○福祉の相互理解や意識の啓発を図るとともに、福祉に関する担い手の育成や生きがいの創出等に努めます。 ・地域課題の解決のため「くらしのあったか応援隊養成講座」を開催し、福祉人材の養成を行います。 ・魚津市まちづくりフォーラムの企画段階から参画するとともに、社協の取り組みを紹介しまちづくりを推進します。 | | 通年 養成講座：年3回 フォーラム：年1回（2月頃） |
| 480 | 506 | △26 | |
| (共同募金 480) | | | |
| (4)支え合いマップづくり事業 | ○自治会長をはじめ、地区住民が可視化できるマップを作成し、情報を共有するとともに、地域の課題解決を図ります。 ・経田地区、西布施地区でのマップづくりを進めます。 ・上野方地区、加積地区、道下地区のマップ更新を支援します。 | | 新規：37行政区 |
| 100 | 100 | 0 | |
| (共同募金 100) | | | |
| (5)社会福祉大会開催事業 | ○第68回魚津市社会福祉大会を開催します。 ・福祉関係者をはじめ、広く市民の皆さんに地域福祉を考える機会とします。 ・福祉事業功労者の表彰、大会宣言の承認と大会決議の採決、記念講演を実施します。 | | 日時：7月13日(土) 13時30分 会場：新川文化ホール |
| 658 | 800 | △142 | |
| (共同募金 400・繰入金 258) | | | |
| (6)広報啓発活動事業 | ○「より見える、見やすい社協活動」を常に意識し、住民や関係団体からの信頼や協力を得、相互に利益をもたらす関係の構築に努めます。 ・社協が取り組む事業や活動の有効性、地域福祉活動の主人公である住民の主体性を引き出す情報発信を行います。 ・情報発信の手段（組織内部・利用者やその家族・地域社会に対しての広報）のあり方を工夫します。 | | 広報誌発行：年4回 （5月・8月・11月・2月） ホームページの更新 イメージキャラクター「うおっしやくん」によるPR強化 |
| 299 | 1,000 | △701 | |
| (共同募金 299) | | | |
| 新 (7)魚津あったか食堂事業 | ○子どもから大人まで、誰もが集まれる場所として、みんなでワイワイ家庭の味を食べられる食堂として取り組みます。 ・ボランティア主体の運営を図り、地域住民の福祉を向上に努めます。 | | 実施回数：年10回 参加者数：見込み 30人/回 実施場所：協議中 ※高校生以下：無料 大人：200円 |
| 180 | 0 | 180 | |
| (共同募金 120・その他 60) | | | |
| 新 (8)地区社協役員等研修支援事業 | ○13地区社協役員等の視察研修の企画、調整を支援します。 | | 年1回 |
| 218 | 0 | 218 | |
| (共同募金 218) | | | |

6 生きがい推進事業サービス区分 (19,683千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|------------------|----------------------------------|---|-------|----------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)旧福祉センター維持管理事業 | ○施設の維持管理と管理経費の節減に努めながら効率的に管理します。 | | | |

| | | | | |
|----------------------------|--------|--------|--|--------------------------------|
| 旧百楽荘維持管理事業 | | | ・開館は火曜日から土曜日までの10：00から15：00までとします。(祝日、お盆、年末年始は休館とします。) | |
| 5,543 | 7,976 | △2,433 | | |
| (市受託金 5,543) | | | ○旧福祉センター百楽荘を活用し、地域で暮らす人々が、介護予防教室に参加し、それぞれの希望や能力に応じて、生きがいを感じながら元気で活躍できる機会をつくれます。 ○住み慣れた地域で自立した生活を送れるように、生きがいづくりや健康寿命の延伸に努めるため、「おたっしや介護予防教室」を開催します。 | 通年 目標：20,000人 (前年度目標：同数) |
| 14,140 | 11,304 | 2,836 | | |
| (市受託金 13,416・補助金3・その他 121) | | | <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 新金屋教室：火曜日から土曜日まで 午前10時から午後3時まで 経田教室：火曜日・土曜日 午前9時45分から午前11時15分まで 木曜日 午前9時45分から午後3時まで (祝日、お盆、年末年始は、教室の開催はありません。) ・教室内容 体操：ストレッチ、筋力アップ、失禁予防、認知症予防レクリエーション 創作：押し絵、貼り絵、折り紙、絵手紙、書道、俳句、小物づくり など 脳トレ：健康麻雀、花札クラブ、まちがい探し カラオケ教室：うたごえクラブ 栄養改善料理教室：低栄養予防や食生活のアドバイス ・野外でチャレンジ ・介護予防教室成果発表会 ・絵手紙教室展示会 ・市主催事業：脳まめなけクラブ ・広報媒体、出張サロンを活用して介護予防の重要性を周知する。 | 年1回 6月 秋頃 随時 随時 |

2 児童センター拠点 (85,241 千円)

1 児童センター管理経営事業サービス区分 (47,280 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|------------------------|--------|------|---|--|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)児童センター管理経営事業 | | | ○4回目の指定管理(平成31年度から5年間)を受け、地域住民の期待に応えうる児童センターの経営に努めます。 ・健全な遊びを通して児童の心身を育成し情操を豊かにするため、魅力ある遊びのプログラムや行事を企画し運営します。 ・障がいを持つ児童も含め、個々の環境に適した指導・支援体制の充実を図ります。 ・児童が安心して過ごせる居場所の確保・危険防止と過ごしやすい環境を整備します。 ・4センター合同の『うおづ児童センターまつり』を開催し、広く児童センターの活動の周知を図ります。 ・小学校長や主任児童委員等で構成する児童センター運営会議を開催し、意見や助言を求め、適正な管理等に努めます。 | 目標：66,000人 (前年度目標：68,000人) 10月開催予定 年1回(5月に開催) |
| 47,280 | 47,486 | △206 | | |
| (指定管理料 46,877・その他 403) | | | | |

2 放課後児童健全育成事業サービス区分 (31,802 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|---------------------------------------|--------|--------|--|----------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| ④(1)放課後児童健全育成事業 | | | ○下校後に保護者が仕事等で家庭にいない児童を対象に、適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成を図ります。 ・新たに「つばめ村木学童クラブ」を旧村木小学校内に開設し、3年生以上約50人の利用登録児童の支援に努めます。 ・保護者、学校、地域等関係機関と連携を図り、子どもたちの遊びの環境づくりに対する支援を行います。 ・放課後児童支援員の資質向上を目指し、専門性を高めます。 | 通年 |
| 31,802 | 21,331 | 10,471 | | |
| (市受託金 31,802) ※つばめ村木学童クラブ増額分 8,500 | | | | |

3 地域子育て支援事業サービス区分 (6,159 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|--------------|-------|-----|---|---|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)地域子育て支援事業 | | | ○乳幼児親子が気軽に集い交流できる場を提供し、子育ての不安・悩みを解消できるよう支援に努めます。 ・子育てに関する相談・援助や情報提供などを行います。 ・親子の居場所づくりのため、また来たいと思える環境整備に努めます。 | 通年 目標利用組数 親子教室(水・金) 親子1,800組 ひろば 親子 900組 |
| 6,159 | 5,577 | 582 | | |
| (市受託金 6,159) | | | | |

3 障害福祉サービス拠点 (87,654 千円)

1 障害者交流センター管理経営事業サービス区分 (4,128 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|---------------------------|-------|-----|---|---|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)障害者交流センター管理経営事業 | | | ○4回目の指定管理(平成31年度から5年間)を受け、障がいのある人たちの自立と社会参加の促進に寄与するための施設づくりに努めます。 ・利用者の集いの場、遊びの場となる居場所づくりに努めます。 ・利用者支援に対応できる人材の育成に努めます。 ・地域との交流、情報の発信による利用者の確保に努めます。 ・施設の有効活用として、ダンス教室やスポーツレクリエーション活動を企画します。 ・交流センターだよりを定期的に発行します。 | 通年 目標:8,500人 (前年度目標:8,800人) 年6回 年6回 |
| 4,128 | 3,955 | 173 | | |
| (指定管理料3,858・自主事業利用者負担270) | | | | |

2 障害者地域生活支援事業サービス区分 (13,202 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|--------------------------|--------|--------|---|--|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)障がい者相談支援事業 | | | ○障がい者やその家族等からの様々な相談に応じ、必要な情報提供や助言、障害福祉サービスの利用支援等に努め、障がい者の自立した日常生活および社会生活を支援します。 ・定期的なサービス等利用計画書の作成とモニタリングを実施します。 ・様々なニーズや課題に対応するため、関係機関と連携します。 ○相談支援専門員のケアマネジメントのレベルアップめざし、研修会や他職種との交流会に参加します。 | 計画書 80件 モニタリング 100件 相談部会定例会 月1回 研修等 |
| 12,184 | 14,510 | △2,326 | | |
| (市受託金9,398・自立支援給付費2,786) | | | | |
| (2)手話・朗読奉仕員養成事業 | | | ○聴覚障がい者の自立や社会参加を促進するために必要なコミュニケーション支援を行なう手話奉仕員の養成を支援します。 ・魚津市民手話教室(入門・基礎講座)を開催します。 | 入門講座 20回 基礎講座 25回 |
| 738 | 648 | 90 | | |
| (市受託金690・その他48) | | | | |
| (3)障害者IT推進員派遣事業 | | | ○障がい者のパソコン等の使用に関する相談や援助を行い、社会参加を促進します。 ・交流センターでパソコン教室を開催します。 | パソコン教室 第4土曜日 |
| 280 | 280 | 0 | | |
| (県受託金280) | | | | |

3 グループホーム大光寺事業サービス区分 (12,132 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|-----|-----|---|-------|----------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| | | | | |

| (財源内訳) | | | | |
|---|-------|-------|---|----|
| (1)グループホーム大光寺事業 | | | ○利用者がその人らしい生活を送れるように個別支援計画を立て支援しながら、入居者が地域で自立した生活を送ることができるよう支援します。 ・ 支援員や世話人のスキルアップめざし、研修等に参加します。 ・ 利用者負担金の改定（家賃の値上げ）し、経営の安定化を図ります。 | 通年 |
| 12,132 | 9,448 | 2,684 | | |
| (市補助金 625・自立支援給付費 8,811・その他 39・繰入金 2,657) | | | | |

4 つくし学園管理経営事業サービス区分 (58,192 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|--------------------------|--------|-------|--|----------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)つくし学園管理経営事業 | | | ○新川地域の中核的な児童発達支援センターとして、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」が専門的に行える施設づくりを行います。また、地域のニーズを敏感にとらえ、子ども達が健やかに育つことができる地域支援体制の整備に努めます。 ・ 児童発達支援、保育所等訪問、障害児相談支援、障害児療育支援を適正に行います。 | 通年 |
| 58,192 | 54,501 | 3,691 | | |
| (指定管理料 56,156・繰入金 2,036) | | | | |

4 介護保険サービス拠点 (401,399 千円)

1 ホームヘルパーステーション事業サービス区分 (140,021 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|---|---------|-------|---|---|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)ホームヘルパーステーション事業 | | | ○要介護の方、障がいのある方などが、地域で安心して自立した日常生活を送る事ができるよう、自宅を訪問し、身体介護、生活全般において支援します。 ・ 迅速かつ効率的・柔軟性のある質の高いサービスに努めます。 ・ サービスの多様化に対応できるよう職員配置の安定化と人材育成に努めます。 ・ 多様なサービス提供により利用者確保と安定した経営に努めます。 ・ 利用者のニーズに応じたサービス・自立支援のサービス提供に努めます。 ・ 経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 | 目標：31,250件(2.5%増) 訪問介護：18,840件(+1,150件) 総合事業：5,320件(+320件) 障害：6,240件(-720件) 私的：850件 (前年度目標：30,500件) |
| 140,021 | 130,664 | 9,357 | | |
| (介護保険事業収入 76,319・障害福祉サービス等事業収入 28,194・前期繰越金 35,508) | | | | |

2 東部デイサービスセンター事業サービス区分 (123,218 千円)

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|-------------------|-----|---|---|-----------|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| (財源内訳) | | | | |
| (1)東部デイサービスセンター事業 | | | ○自宅に閉じこもりがちな要介護者の社会的孤立を軽減し、食事、入浴、排泄介助など | ※利用定員：35人 |

| | | | | |
|--------------------------------|---------|-------|--|---|
| 123,218 | 118,474 | 4,744 | 日常生活等の援助や生活リハビリテーション、レクリエーション等によって、心身機能の維持・向上を図り、自宅での自立した生活をより長く続けられるよう支援します。 <ul style="list-style-type: none"> ・心身機能の維持回復だけでなく家族介護の負担軽減を目的に支援します。 ・特に認知症の方に有効なレクリエーション活動や対応支援を通じ、進行予防や周辺症状の緩和に努めます。 ・居宅介護支援事業者への積極的な空き情報を提供します。 ・認知症対応型利用者（定員12人）の稼働率90%以上の維持に努めます。 ・経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 | 目標：10,060人（0.3%増） 通所介護：4,800人 認知症：3,660人（-20人） 総合事業：1,600人（+60人） （前年度目標：10,020人） |
| （介護保険事業収入 91,669・前期繰越金 31,549） | | | | |

3 身体障害者デイサービス事業サービス区分（67,266千円）

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|---|--------|-------|---|--|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| （財源内訳） | | | | |
| (1)身体障がい者デイサービス事業 | | | ○在宅で生活する障害のある方の生活改善・身体機能の維持向上を図るために、通所による創作活動や機能訓練を提供し、自立と社会参加を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を尊重し、個性を生かしたサービスを提供に努めます。 ・関係機関との連携を図り、質の高いサービスを提供します。 | ※利用定員：23人 目標：5,030人（0.1%増） 通所介護：1,320人 総合事業：440人 生活介護：3,060人（+10人） 身障デイ（受託）：210人 （前年度目標：5,020人） |
| 9,624 | 9,577 | 47 | | |
| （市受託金 9,400・利用者負担金 224） | | | | |
| (2)通所介護・生活介護事業 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と交流する活動の充実と利用者の確保と効率的な運営に努めます。 ・利用者確保のため、新規利用者や早急の受入れに積極的に対応していきます。 ・経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 | |
| 57,642 | 55,689 | 1,953 | | |
| （介護保険事業収入 11,854・障害福祉サービス等事業収入 27,515・前期繰越金 18,273） | | | | |

4 居宅介護支援事業サービス区分（70,894千円）

| 事業名 | | | 事業内容等 | 実施時期・目標等 |
|--------------------------------|--------|-------|---|--|
| 予算額 | 前年度 | 比 | | |
| （財源内訳） | | | | |
| (1)居宅介護支援事業 | | | ○利用者の尊厳保持や自立支援を重視した公正、中立、誠実なケアマネジメントを実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに沿った社協らしいケアマネジメントの実施に努めます。 ・研修会等に参加し、職員の質の向上を図り介護支援専門員の育成に努めます。 ・効率的な業務と安定した運営に努めます。 ・多職種や地域との連携を強化し、地域包括ケアを実践し地域貢献に努めます。 ・地域福祉課等の連携強化、困難ケースへの積極的な対応を図ります。 ・経営管理体制の充実、職員間でのコスト管理の徹底を図ります。 | 目標：2,880人（4.3%増） 要介護1・2：2,040人（+120人） 要介護3～5：840人 （前年度目標：2,760人） |
| 70,894 | 64,910 | 5,984 | | |
| （介護保険事業収入 45,092・前期繰越金 25,802） | | | | |